

椅子に腰かけている

うら若い十九のをんな

短く切った黒髪

丸顔の赤いほお

好奇心と堅実な黒い瞳

やさしいくびすじからのなめらかなかた

縛られ隠されたふくよかなむね

柔らかかに揺らんだからだ

ほっそりと伸びきったうで

ぬくもりに近づくにつれて

和らぎを豊かにしてゆく二本のあし

それら個々を流れ創造する

あたたかな体液が

つつましく控えめな

あなたのくちびるから

ぼくのくちびるへと

くうきをつたって

とどいてくる